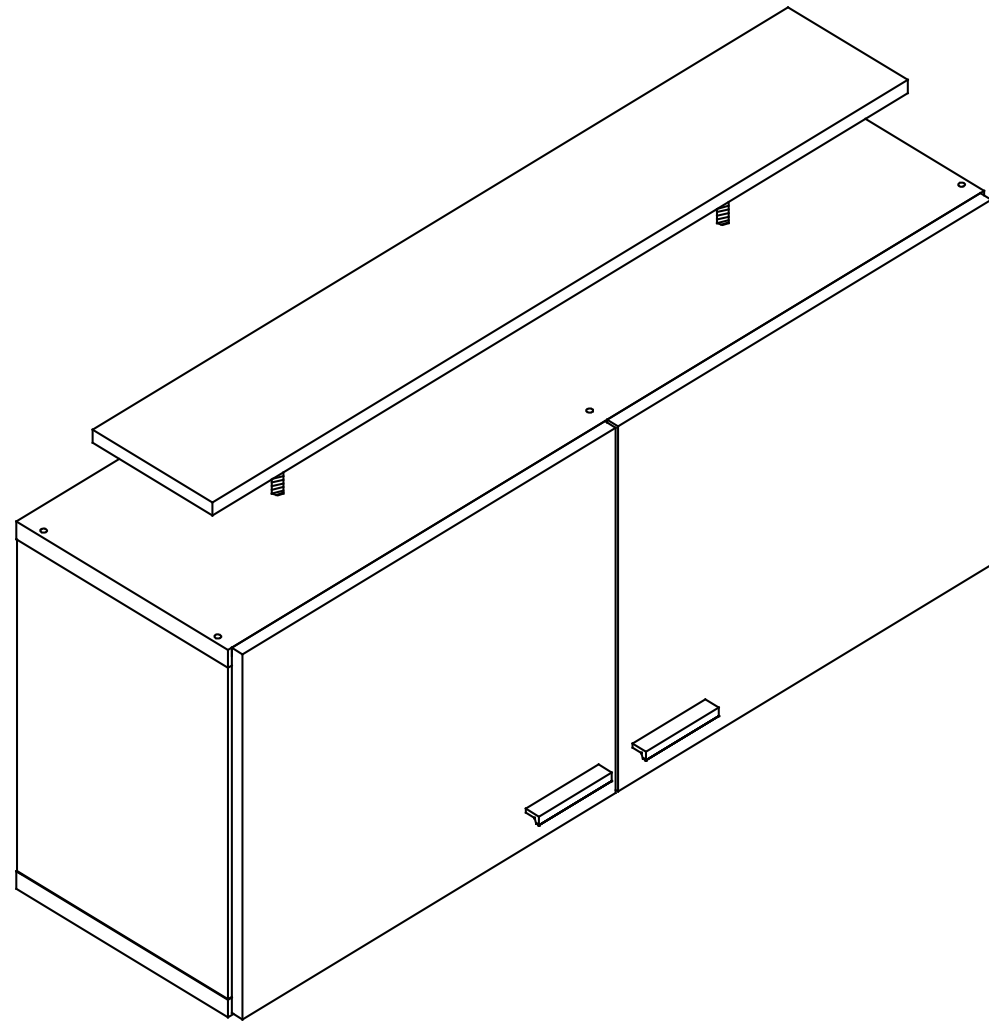


# 上置き125 DSP-UE125

## 取扱・組立説明書

HS056 ver. 1



この度は当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱・組立説明書を最後までお読みの上、正しい使い方でご愛用下さい。  
なお、この説明書はいつまでもご覧頂けるように大切に保管して頂きますようお願い申し上げます。

## 組立て前に必ずよくお読み下さい。

### ● ご準備頂くもの

- ・プラス(+)ドライバー
- ・はさみ、またはカッターナイフ
- ・少し大きめのダンボール、またはやわらかい布(タオルや布団等)

### ※ 組み立て時の注意

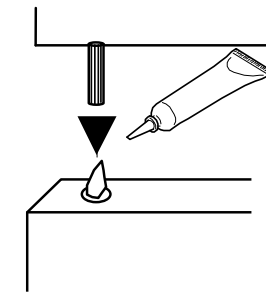
- ・安全に組み立てるために2人以上での組立をお勧めします。
- ・組み立ては平らな場所で、床などに傷がつかないようにダンボールや柔らかい布等を敷いて行ってください。
- ・最初はゆるめに組んでおき、最後に全体のバランスを見ながらしっかりとネジを締めてください。
- ・部品は正確に取り付けてください。

### ● 次の部品や小物を使用する場合は、必ず下記の要領を守って正しく組立てて下さい。

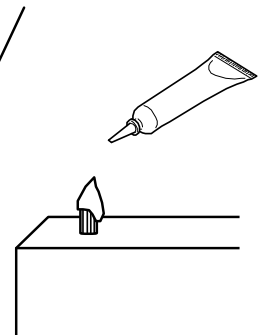
#### ○ ボンド・ダボ(接着について)



このボンドマークがあるところでは、下記のようにボンドを使用します。



ダボ穴にボンドを垂らし、  
ダボをその上から  
差し込む。



ダボに直接ボンドを垂らし、  
穴の部分をかぶせて取り付ける。



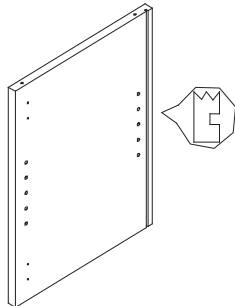
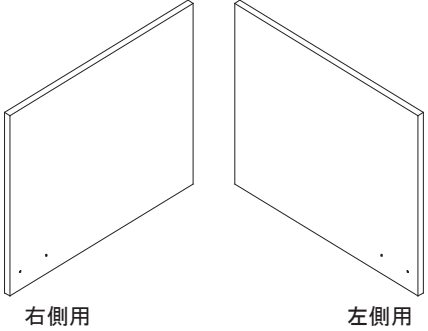
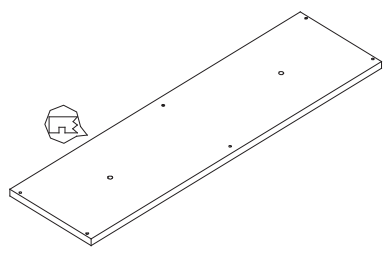
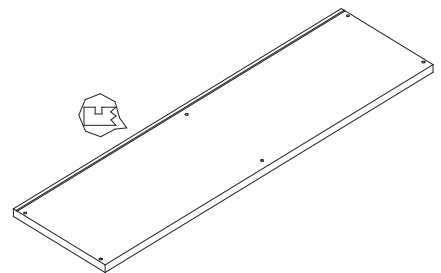
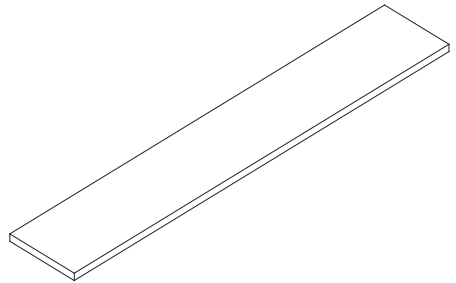
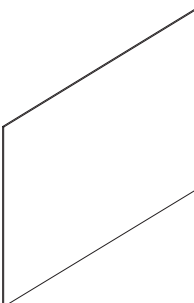
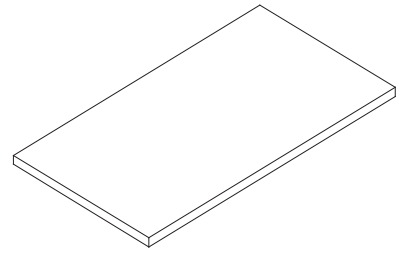
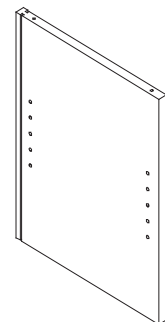

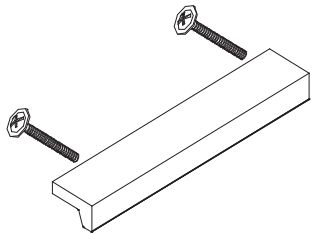
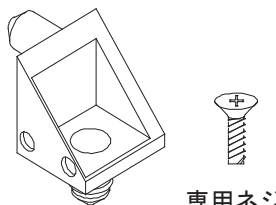
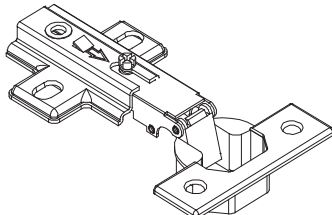
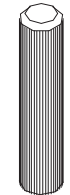
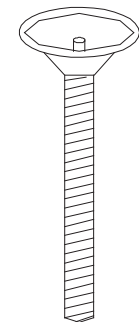
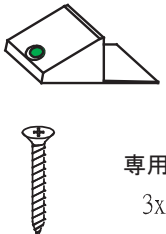
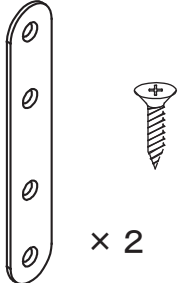
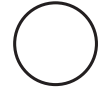
### 使用上の注意

- 本品は屋内用です。
- 移動する際は、必ず、載せているものを全て取り除いてから引きずらないよう持ち上げて移動して下さい。収納物や商品の転倒、破損ケガの原因になります。
- 必ず水平で安定した場所に設置して下さい。
- ストープのそば等、高温多湿の場所での使用は避けて下さい。変形や変色の原因になります。
- 水分、油、洗剤等が付着した場合は、素早くふき取って下さい。
- 粘着物をはりつけると、棚板の表面がはがれる恐れがありますので、テープやシール等は貼らないで下さい。
- 天災などの不可抗力や、不当な修理、改造による故障・破損に対する補償等は致しかねます。
- ダンボール箱からの取り出しや組立は、2人以上で行って下さい。

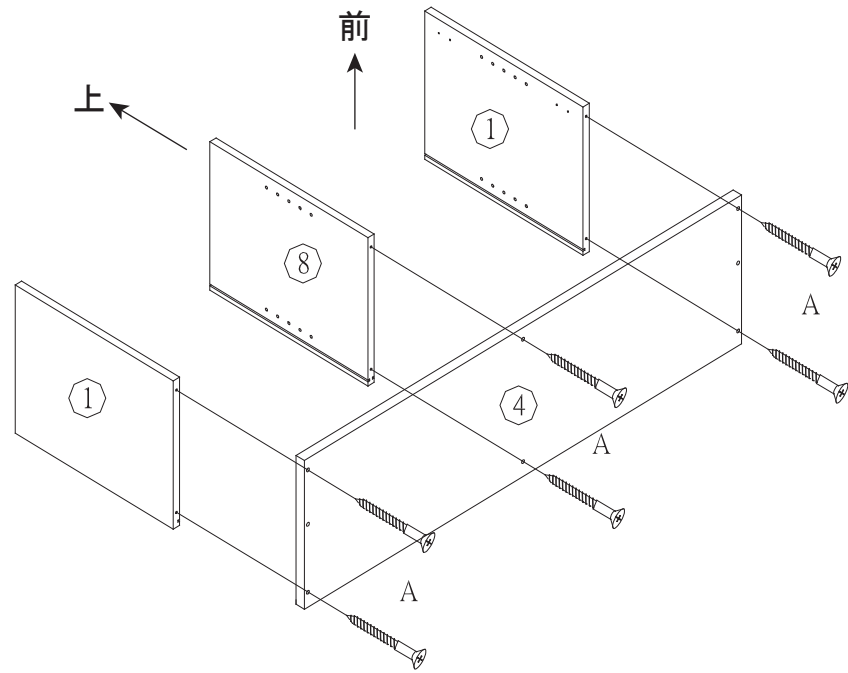
#### 点検・お手入れについて

- 汚れをおとす際は、薄めた中性洗剤で拭いた後、固く絞った布等で完全に洗剤分を拭きとって下さい。水分等が残りますと後が残る恐れがあります。アルコール、ベンジン、漂白剤、みがき粉等は使用しないで下さい。
- ネジ類は、その取り付けが確実かどうか、時々点検して下さい。

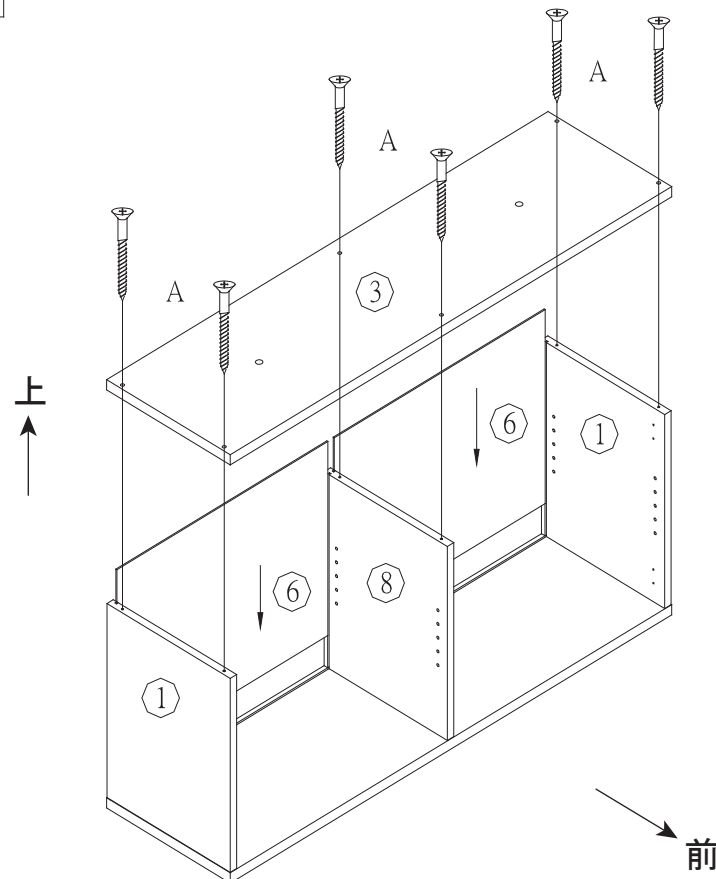
製品には万全を期しておりますが、万一不都合な点がございましたら、  
ご遠慮なく右記までご連絡下さい。

<p>① 側板 × 2</p>  <p>※左右の区別は有りません。</p>	<p>② 扉 左右各 × 1</p>  <p>右側用                      左側用</p>	<p>③ 天板 × 1</p> 	<p>④ 地板 × 1</p> 	<p>⑤ 天井あたり板 × 1</p> 
<p>⑥ 背板 × 2</p> 	<p>⑦ 可動棚 × 2</p> 	<p>⑧ 中仕切り板 × 1</p> 	<p>A ネジ大 × 12</p>  <p>5.5x45KA</p>	<p>B 取っ手 × 2</p> 
<p>C 棚ダボ × 8</p>  <p>専用ネジ</p>	<p>D ヒンジ × 4</p>  <p>専用ネジ × 16 4x15KA</p>	<p>E 連結用ダボ × 2</p> 	<p>F 高さ調整ネジ × 2</p> 	<p>G 背板ストッパー × 8</p>  <p>専用ネジ × 8 3x18KA</p>
<p>H 連結用プレート × 2</p>  <p>専用ネジ × 8 3.5x12KA</p> <p>× 2</p>	<p>I 戸当たりシール × 4</p>  <p>※透明の丸いシールです。</p>	<p>I 戸当たりシールは、お好みにより、扉を閉じた際に本体と触れ合う部分に貼り、扉の開閉時の防音にお役立て下さい。</p>		

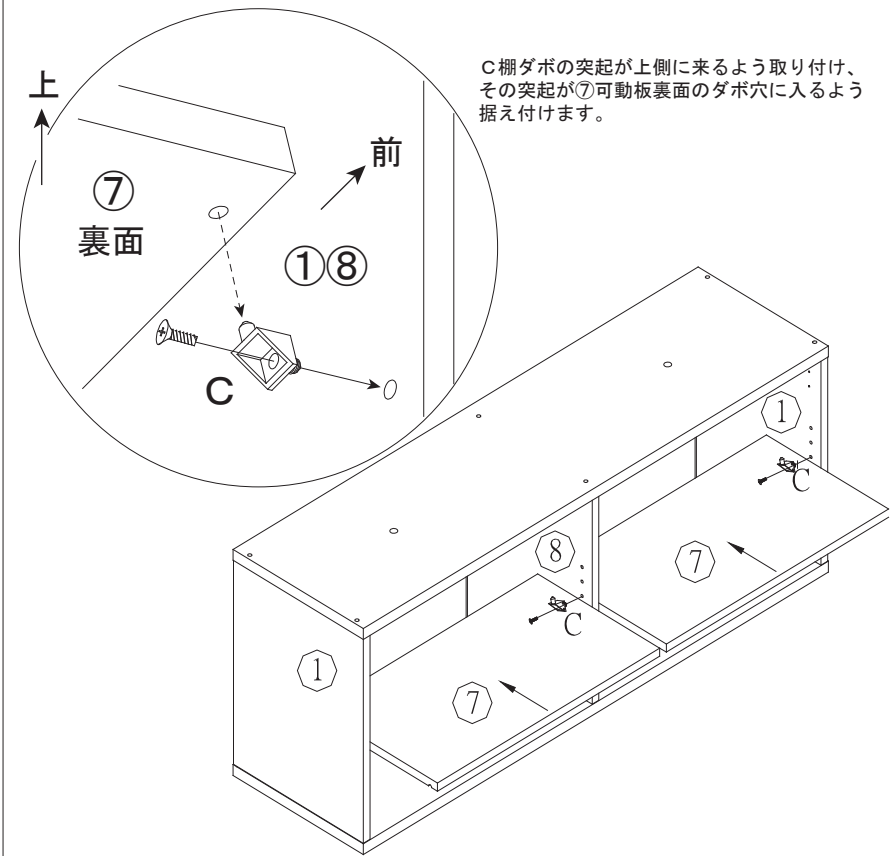
1 ①側板と⑧中仕切り板を、④地板にAネジ大を使って取り付けます。



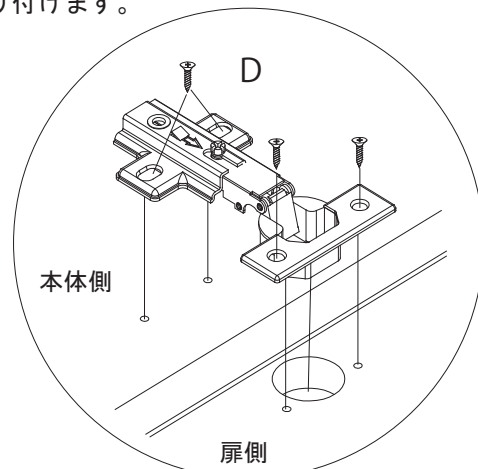
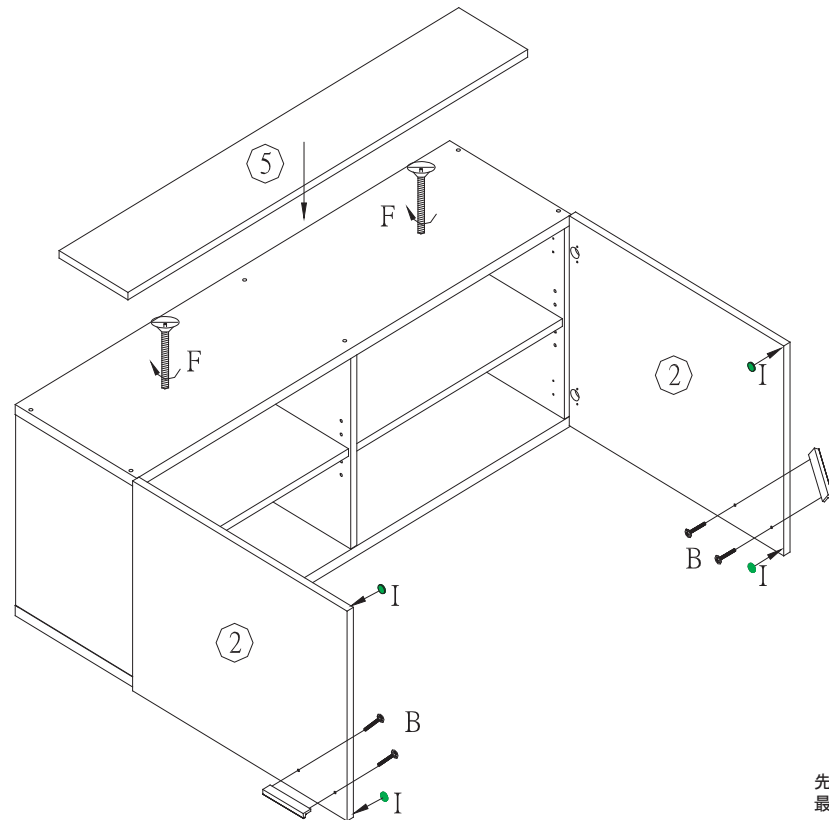
2 本体を起こし、⑥背板を差し込んで③天板をAネジ大で取り付けます。



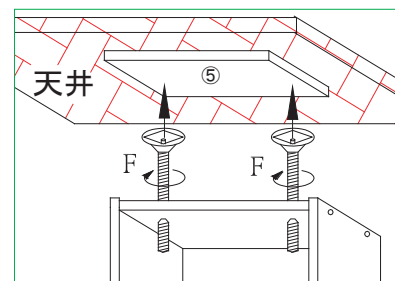
3 側板と中仕切り板に、C棚ダボを専用ネジを使って全て取り付けます。さらに、その上に⑦可動棚を据え付けます。



4 先に②左右扉にDドアヒンジを取り付け、その後、本体にヒンジを取り付けます。B取っ手を扉に取り付け、好みの位置にI戸当りシールを貼ります。F高さ調整ネジを取り付け、その上に⑤天井当たり板を据え付けます。

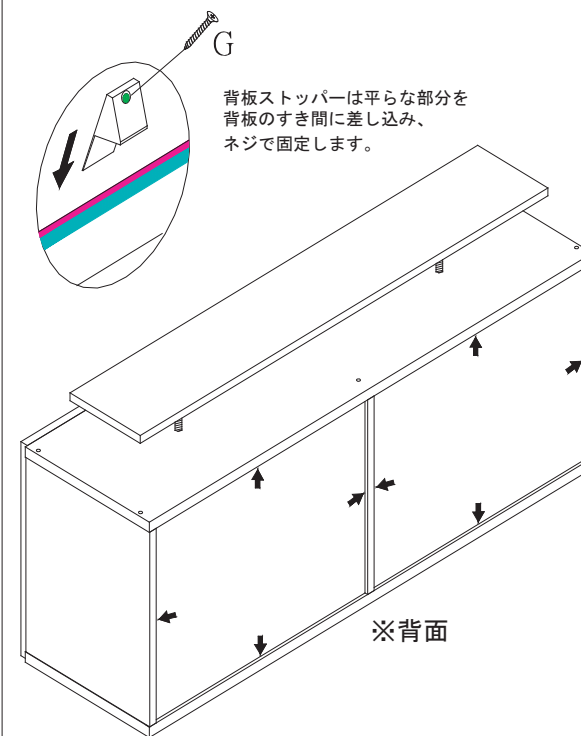


※ドアヒンジの調整方法は別紙をご覧ください。



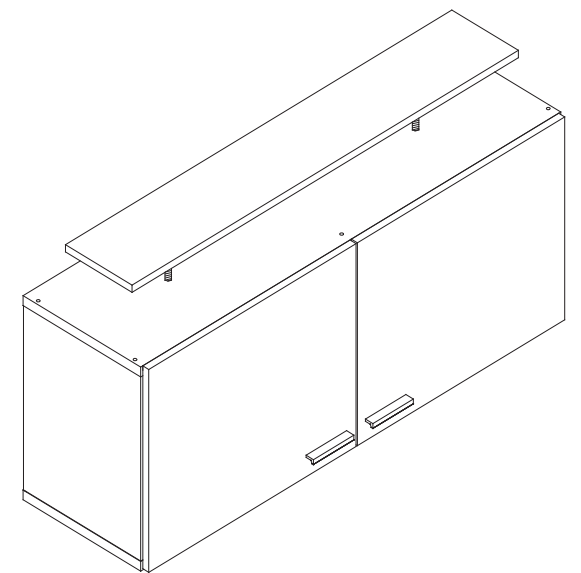
先にFをある程度まで伸ばし、天井とのすき間に⑤を差しこみ、最後にもう一度Fを強く締め付けて下さい。

5 背面に背板ストッパーを取り付けます。

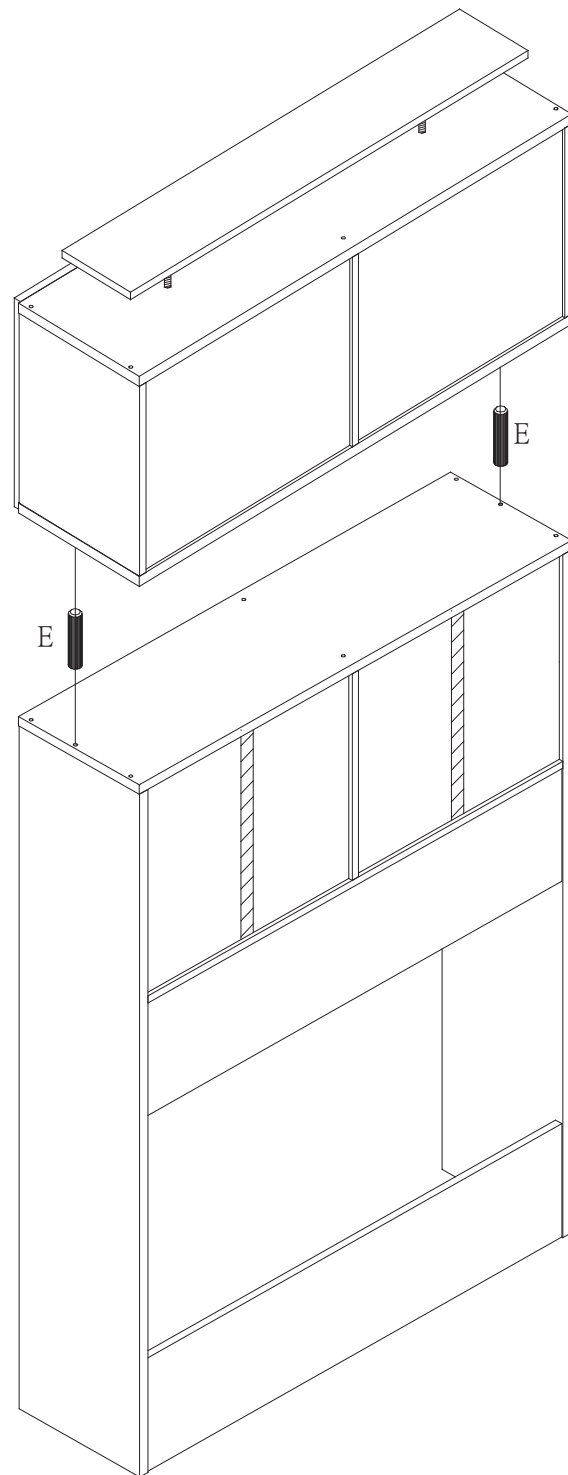


背板ストッパーは平らな部分を背板のすき間に差し込み、ネジで固定します。

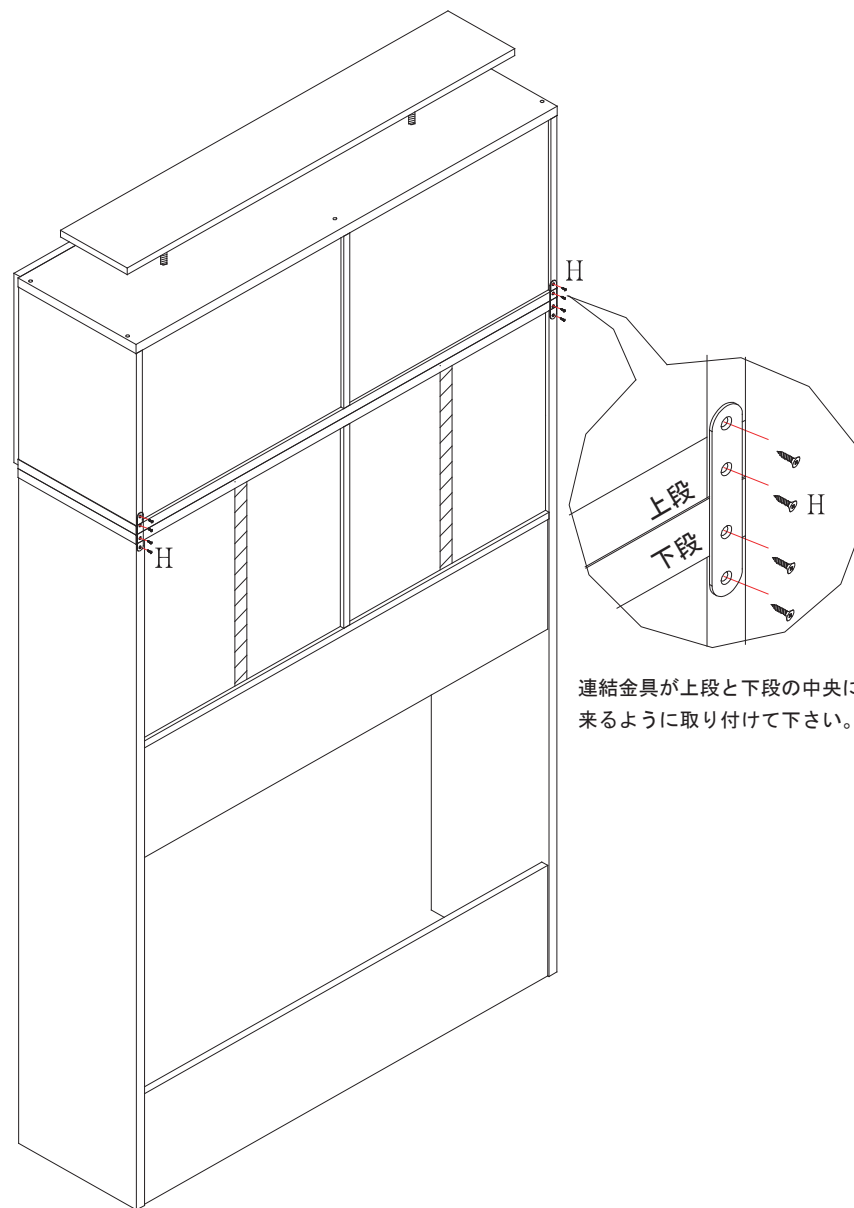
完成です！



この商品は、同シリーズ ハイラックの上に連結させることができます。  
ハイラックの天板にE連結用ダボを取り付け、その上に商品を載せます。  
※この作業は、必ず二人以上で行って下さい。

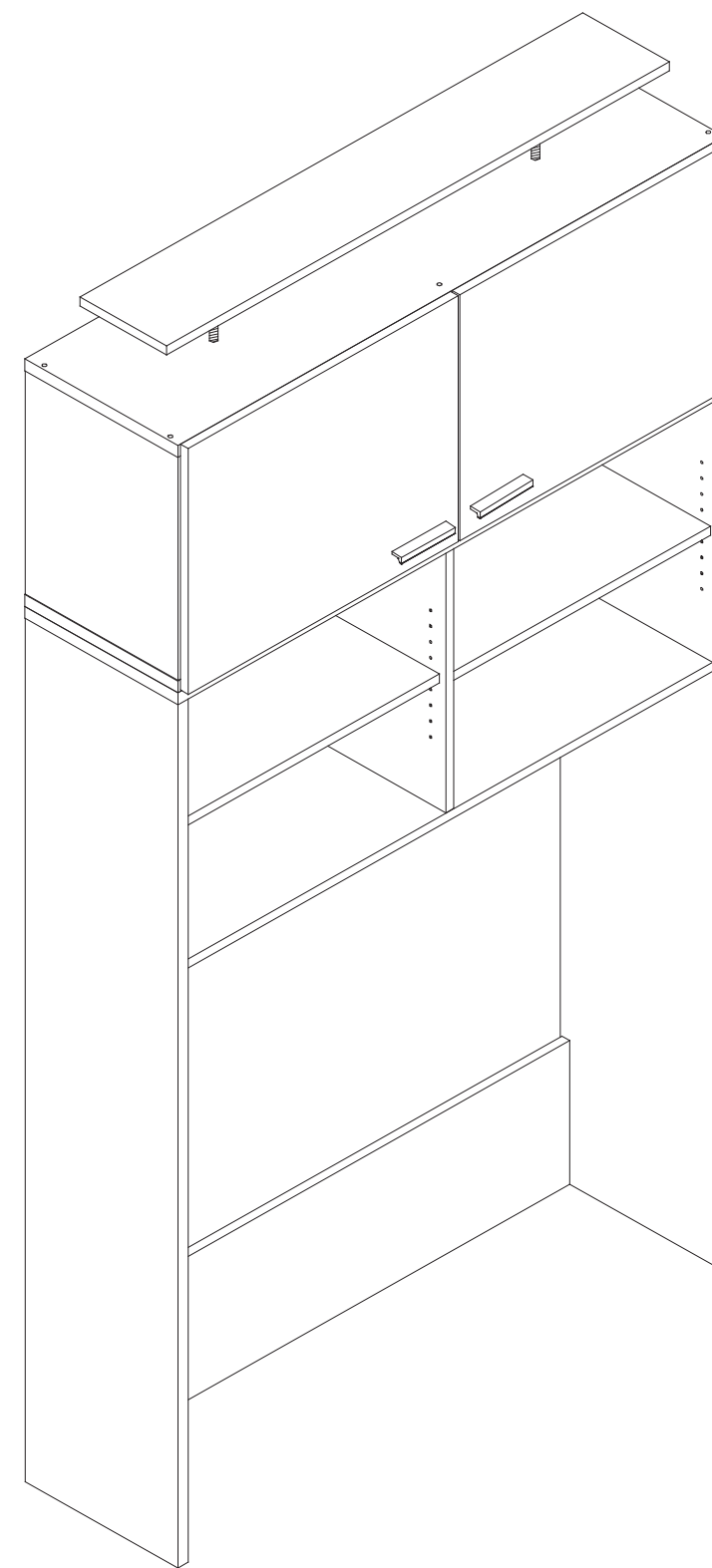


H連結金具を図のように取り付けます。



連結金具が上段と下段の中央に来るように取り付けて下さい。

ハイラックと連結をさせた場合、非常に背が高くなります。  
安全のため、必ず連結金具を取り付け、天井にしっかりと  
つばってご利用下さいませ。



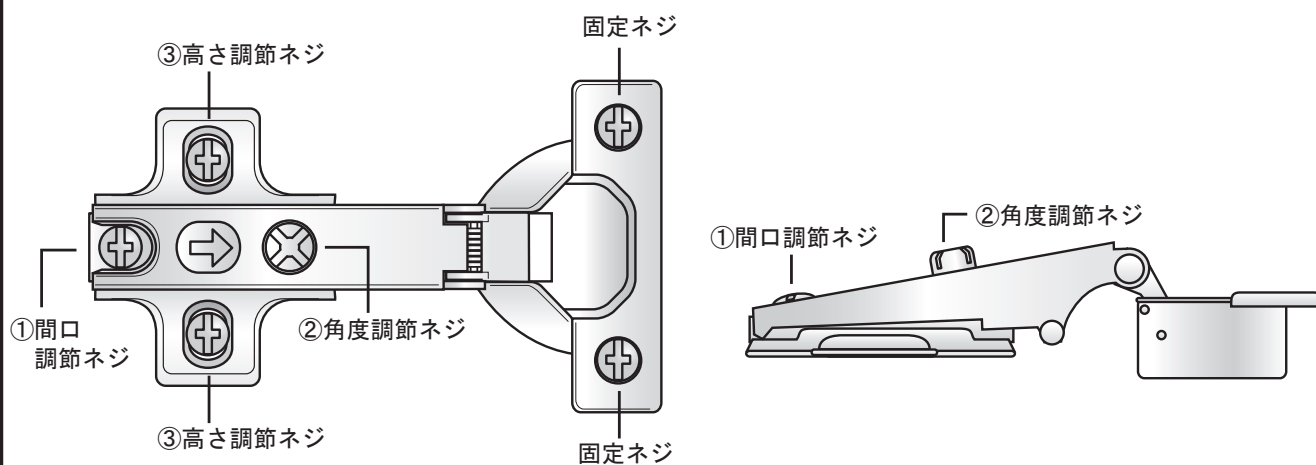
# ◆ ドアヒンジの調整方法

本体と扉をヒンジで取り付けた際に、扉が傾いたりずれていたりする場合は、ヒンジについている各種ネジを調整することで、扉を美しく取り付ける事ができます。調整するのが「間口調節ネジ」「角度調節ネジ」「高さ調節ネジ」の3箇所です。この3箇所を調整し、キレイに扉を取り付けられるコツをご紹介します。

## ■ ヒンジの詳細

ヒンジの各部位を紹介いたします。主に調整するのが

①「間口調節ネジ」②「角度調節ネジ」③「高さ調節ネジ」の3箇所です。

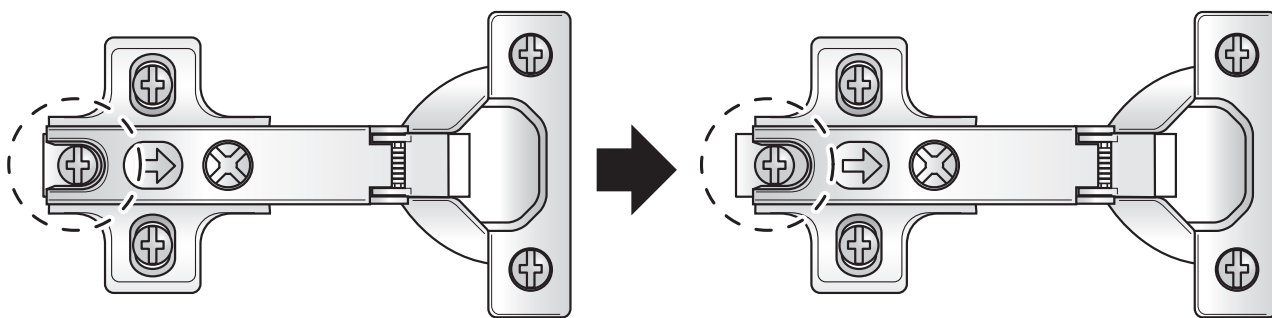


ヒンジ：上面図

ヒンジ：側面図

### ① 間口調節ネジ…扉同士の隙間を調整します。

まずは「間口調節ネジ」からご説明いたします。「間口調節ネジ」は扉と本体の間隔を調整する部分です。ヒンジを扉に取り付ける前に、事前に「間口調節ネジ」をゆるめて、スライド部分を約3mmほど出してネジを締めます。このスライド部分の出ている幅が広ければ広いほど扉と本体の間隔が広がり、逆に扉と扉の隙間が狭くなってしまいます。



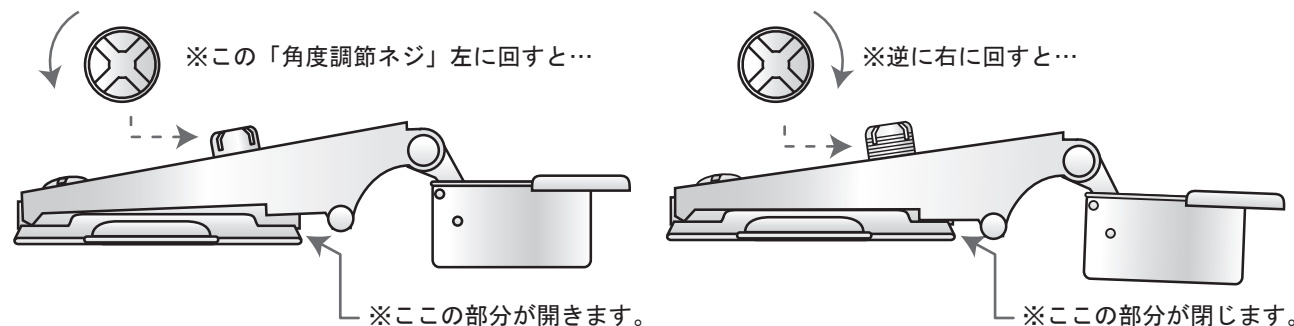
出す前

出した後

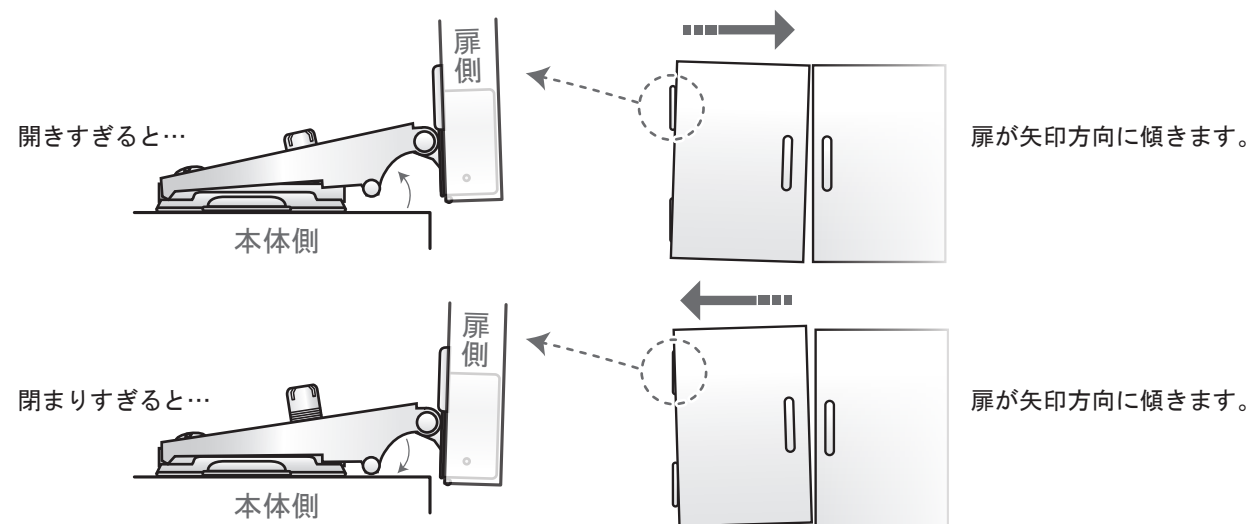
扉を本体に取り付けた後、扉を開閉してみて扉と本体の間隔、扉同士の間隔をご確認ください。先ほど出した約3mmが丁度いい間隔の目安になりますが、もし開閉の際、扉の端が本体に当たったり、扉同士がぶつかったりするようでしたら、再度「間口調節ネジ」を緩めて微調整してください。

### ② 角度調節ネジ…扉の角度を調整します。

続けて「角度調節ネジ」をご説明いたします。「角度調節ネジ」は扉の角度を調整する部分です。



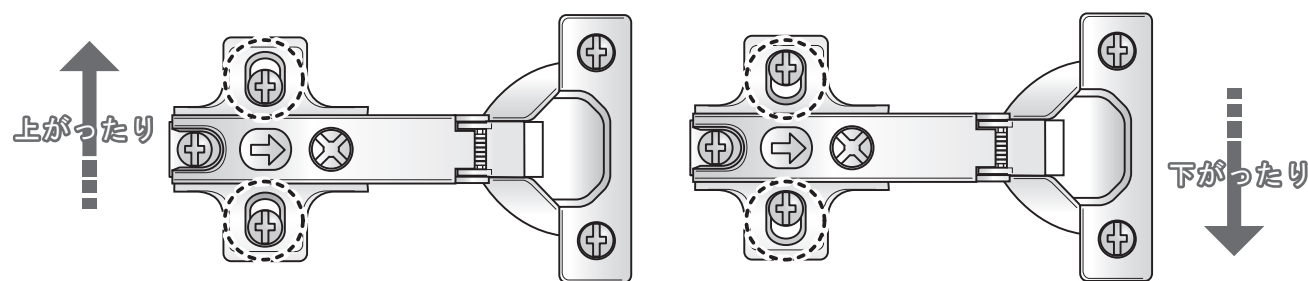
つまり、この角度調整ネジを回すことで扉の角度を調整できるわけですが…



ヒンジは通常上下2つで1セットなので、「角度調節ネジ」を回すときは、上下のヒンジを合わせる必要があります。片方だけ角度が違っていると扉の傾きの原因になりますので、扉の傾きが気になる時は、ネジの回転数(1回転、2回転…)を上下であわせて、ヒンジの角度を同じにしてあげる事で、扉をまっすぐ取り付けることができます。

### ③ 高さ調節ネジ…扉の高さを調整します。

最後に「高さ調節ネジ」をご説明いたします。「高さ調節ネジ」は扉自体の上下の位置を調整する部分です。



左右の扉の高さが違う場合は、この「高さ調節ネジ」を少し緩めて扉の上下の位置を調整し、丁度いい高さのところまで改めてネジを締め付けて下さい。

以上のことをふまえて調整することで、キレイに扉を取り付ける事ができます！  
少しお手間はかかりますが、ぜひこれらを参考にチャレンジしてみてください！